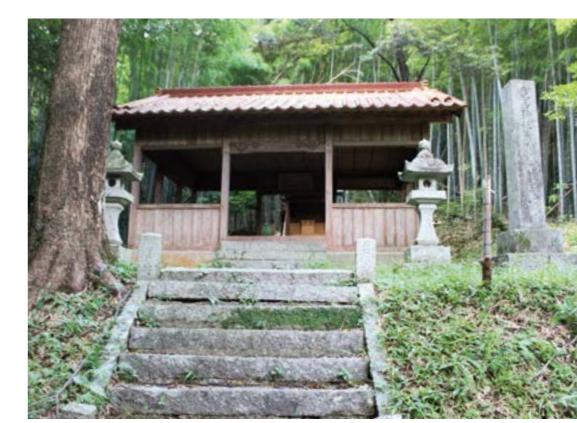
# 北九州歴史文化遺産 第七十回 戦国時代の小倉南 高津尾堰の物語

今から約500年前の1570年代、



高津尾に水を引いた心吉の偉業や人を偲び、村人が建てた「意吉神社」(所在地:小倉南区高津尾)

州市小倉南区春吉地区に高津尾堰と呼 戦国時代の元亀年間のころの話。北九 米作りを」と提唱。 た。ここに一人の農家が村人たちに「紫 と作り生活するしかない貧しい農村だつ の水を頼りに畑で稗や蕎麦などを細々 い。そのため当時の民は、 津尾村はどちらの川よりも15メートル かな紫川、東谷川が流れていたが、 ばれる井堰がある。この地には水量豊 ぐらいの高台のため川の水を利用できな (当時の名称=大滝川) から水を引き 村人たちを引き付 雨水と谷川 高

死ぬまでには米を食べさせてやりたい」 ない。「自分たちだけでなく、両親にも のため川の水を引けない。 は川の水は豊富なのに、 との思いから、 本村の森長=村長=に「川の水を利用 その彼の名=心吉。近くの山本村で 隣村で紫川が流れる山 高津尾は高台 米を栽培でき

> である。 認めよう。 嘆願も繰り返していた。山本村の森長 させて欲しい」と願いを重ね、神社への れてやろう。出来なかったら、 ついに「命を賭けてでもやるというなら と相手にしなかったが、 は当初、「無理だ。出来るはずがない」 と紫川の水利用を了承したの もし成功したら俺の命をく 心吉の熱情に、 命をも

## 命をかけた、堰作り

570年ごろ高津尾堰着工にこぎつけ でも「何としても完成させたい」との願 尾の村民は一時、やる気を失った。それ ろ」などというもので、心吉たち高津 の築材は自分たちで遠方から取り寄せ 次いで出された。「堰は下流に設け、 う堰の場所などについて厳しい注文が相 いから努力を重ね、ついに元亀年間の1 その山本村からは、川の水利用に使 堰

#### 水路は増水して高津尾の地へ流れが蘇 雨が落ちてきた。やがて激しい雨となり、 っていた空が一転してかき曇り、大粒の ちも涙を流した。 水田が誕生した。

正年間の1580年ごろ水路を完成さ 歳月は実に10年にも及び、ようやく天 道具も貧弱。

素人の手作業で水路堀の

間は農作業があるので夜間しか出来ず、

だが工事(水路堀)は、村人は、居

### 語り継がれる偉業 郷土の誇りとして

経ての全延長約1800メー 580年) ごろまで約10年間の工事を 間の1570年に着手し、天正8年 た黄金色の稲穂の海が広がる。元亀年 高津尾には紫川の水を得て育っ -トルに及

本村の森長との約束だった。晴天が続 「命を賭して水路を引く」が心吉と山

水路沿いに設けら

たため川の水は村に届くほどの量には達

しておらず、途中で止まってしまった。

流れ始めた。だが当時、

晴天続きだっ

れた。水は村民の歓声の中で勢いよく

その水路に、いよいよ水を流すことに

高津尾の村民たちは喜びにあふ

いかばかりだっただろう。山本村の人た れていた、磔台の露と消えた。 高津尾の村の人々の嘆き、悲しみは、 が、その時、 晴れ渡

î 約450年。国内では、

2025年11月27日(木)

#### 10:00~11:30 < 開場9:30 > 小倉城庭園研修室 (小倉北区城内1-2) 参加費 会員1,500円

北九州歴史文化塾

講演会

弓

た男」

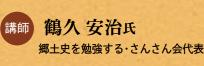
高津尾堰

高台

K

一般2,000円 (資料代含む)

定員 20名(事前予約制) 11月22日(土) 申込期限



長年にわたり地域の歴史研究に情熱を注い できた「さんさん会」。特に小倉南区の重要な 歴史遺産である高津尾堰に関わっています 研究成果の講演活動を通じて地域住民に共 有され、郷土史への理解を深めることに貢献 しています。また、高津尾堰にまつわる感動 的な物語『高台に水を引いた男』の制作にも 携わり、その歴史的価値と地域への思いを後 世に伝える活動にも尽力し地域の歴史を未 来へと繋ぐ貴重な架け橋となっています。

ヘクタールの農地を灌漑し、経由地の山 この事業により水路は約38

導水事業を成し遂げてから37年後の1 からは「森様」と親しみをもって呼ばれ いは今も変わることはなく、 水を引いた男=心吉=の意志を忘れな ちが、「大変な苦労、努力をして高台に 617年 (元和3年)、地元の村人た 心吉の名と心を表わしたもの。その願 いように」との思いで建て、神社名も いう小さな祠が立っている。 高津尾への その事業が成し遂げられてから現在 この堰の近くの高台に、 春吉地域の水田も潤している。 神事が行われているという。 若松区出身の 地元の人

> いる。 医師・中村哲さんのペシャワー 誇りとして語り継いでいきたい」として 事が行われていたということを、郷土の 協議会では、「地元で、こんなにすごい れていた。地元の中谷地区まちづくり 作業道具も何もない時代に成し遂げら 高津尾堰はそれよりも何百年も早く、 参考にした筑後川の山田堰が有名だが、 フガニスタンで農業用水路を建設する際

シニアスタッフ 村田和夫